

## 堺区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称		実施主体			
堺区ブックスタート事業		堺区役所企画総務課・堺保健センター・中央図書館			
事業目的	事業効果	活動指標	R4	R5	R6
乳児期から、絵本に触れることでこどもに夢をあたえ、また保護者からへの読み聞かせを通じて保護者が子育ての喜びを感じるきっかけづくりを行う。	乳児とその保護者に絵本の読み聞かせを行い、保護者に読み聞かせの効用と親子のふれあいの大切さを啓発する。	配付人数 <small>(堺保健センターで4か月児健診を受診したこどもが対象)</small>	922	1014	977
		配付率	100%	100%	100%
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性		
○ 次世代育成支援は本市の重要な施策の1つであり、保護者から乳児に本を読み聞かせることは、育成に高い効用があり、必要な事業である。	△ 今年度より4ヶ月健診受診者対象に堺保健センター、中央図書館、ボランティアとの協力により読み聞かせを開始。配付している絵本についてはボランティアや図書館職員と相談し、選定をしている。絵本選定については、できるだけ乳児が興味を持つものを選んでいる。	○ 絵本、リーフレット（堺区版）、図書館・分館での読み聞かせ日程などのチラシを配付し、親子で読み聞かせに興味をもっていただけるように行った。	○ 絵本を介して親子の絆をより深めるとともに、本のある生活の契機となる。受益者自らがこの機会を活かすことにより、効率性は高まるものと考えている。 また、リーフレットに堺区公式X（旧ツイッター）・インスタグラム・YouTubeの案内を掲載することで、子育て世帯に対し、堺区のPRも行った。		
⑤自立発展性	総合評価				
△ 絵本の購入やパンフレットの作成が必要。読み聞かせについては、ボランティアが主導にはなっているが健診終了世帯の誘導が必要。	○ 絵本とともに配付するリーフレットに、堺区の各種公式SNSの案内を掲載することで、徐々に若い世代のフォロワーが増加しており、堺区に興味を持っていただくことにつながっている。 配付する絵本の選定を行い、同じ絵本を既に持っている方に対して、他の絵本（以前配付していた絵本）の中から選べるように配慮することで、絵本の重複を防ぐことができている。				
今後の方向性（課題、改善提案等）					
拡充 継続 見直し 廃止	令和6年度より実施しているボランティアによる読み聞かせを次年度も継続実施する。 今後、より明確な効果検証手法を検討する。				